

事業所名 グループホーム 向日葵

日付 平成 20年 6月 11日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 薬剤師・介護支援専門員

介護経験歴7年

[自主評価結果を見る](#) (工事中)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

普段の心がけで、施設内外とも綺麗に掃除されていて清潔な感じがしました。入居者への対応は、どの職員も気遣いをしながら同じように出来ていました。言葉かけも適材適所にできていて、よく入居者に話しかけていました。入居者から職員に対してあまり語り掛けないので、職員のほうから話しかけていました。笑顔をもって、声のトーンも良く、入居者が安心できるふれあいが出来ていました。

入居者に自由に生活してもらうことを第1に考えているので入居者のやりたいことを優先し、無理強いはしていないようです。職員もよく理解していて、心温まる対応がしっかり出来ていました。

入居者の健康面には特に気をつけていました。血圧の高い入居者の方は医師の指示を守り、1日5回細かく血圧測定をし、記録により医師の指示を仰いでいました。何かあればすぐに隣接する病院との連絡が取れ、入居者の病変対応もすばやく出来ているようです。家族にとっても安心できる施設です。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

加齢とともに外出する機会が少なくなっているようです。昨年よりも入居者のレベルは下がっていて、何かにつけ理由を付けて拒否する入居者も多いようです。入居者の自由に任せているとはいえ、レベル維持のためにも工夫が必要だと思います。また、行事予定を早めに企画案内し、家族の参加者をより増やす努力をお願いします。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	「家庭的な雰囲気。」を理念にしています。入居者との話し方に親しみを込めて接するように心がけています。掃除などを手伝ってもらえるような共同生活の場で、寄り添い・入居者の気持ちがわかる介護を目指しています。入居者個々を大切に、出来るだけやりたいことを優先して叶えてもらうことを願っています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	入居者を尊重しながら話をよく聞くことで、落ち着くようです。職員は事あるごとに、できるだけ入居者と接する時間を増やしています。夕方になると帰宅願望がでる入居者もいますが、ホームでお手伝いをさせていただくことで、気分転換してもらっています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	失禁しないように自信を持って一人ひとりの力が発揮できるように一定時間を個々に定め計らいながらトイレ誘導に気配りしています。また、自尊心を傷つけないように心がけています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	ヒヤリ・ハットの報告書の内容を職員みんなで検討して、入居者の安全を保てるように努力しています。入居者への対応がバラバラにならないように定期的な会議の中で話し合い、共通の認識を持てるようにしています。		